

杉山邸常設展示場オープン

商家と町の歴史探訪

毎月第4土、日曜日に無料で一般開放している下本町にある古い商家杉山邸(国登録文化財)の2階に常設展示場がオープンしました。

管理運営にあっている笠松を語り継ぐ会が、杉山邸や隣接する土蔵などに保管されていた写真やチラシ・地券・文献など貴重な歴史資料を1年かけて整理。

120点余りの資料を展示するためにパネルや展示ケースの整備を進め、このほど開設セレモニーが杉山幹夫さんや広江町長、十六地域振興財団などが出席して行われました。

杉山さんは「この家と笠松町の誕生はほぼ同時期で一緒に歩んできた歴史があり、皆さんで末永く有意義に活用してください」と述べられました。



常設展示場で資料の説明を受ける杉山さんたち(右から2人目)

広江町長は「常設展示場は語り継ぐ会の努力により一般開放され、杉山邸もまちの駅構想もあり、官民一体となってまちづくりの拠点に」とあいさつされました。

カメラの眼

まちの出来事



笠松みなと公園で気持ちよくウォーキングするみなさん

健康づくり体力づくり

毎週ウォーキング

4月から町民の健康増進を願って、町体育指導委員会が、土曜日毎にウォーキングを開催しています。

5月2日、笠松みなと公園で、30人が参加してウォーキングをしました。

体育指導員から「ウォーキングは、健康増進に効果があり、胸を張り背筋を伸ばし、腕は90度に曲げ大きく振り大股で、20分以上歩くとよい」と説明されました。

参加者たちは、足や腕などをストレッチし2.2キロのコースを体育指導員と一緒にさわやかな汗を流し、「健康づくりのために毎週ウォーキングに参加しています」と話されました。

文化・芸術・学習の 成果を一堂に

舟をテーマにかさまつ文化フェスタ

5月16日・17日、笠松中央公民館で「舟」をテーマとして、かさまつ文化フェスタ2009が盛大に開催されました。

かさまつ文化フェスタは、町文化協会に登録されているクラブやサークルの会員の成果などを町民に披露する場です。

作品展示部門では、柳津・岐南町文化協会の協賛出展のほか油絵・水彩画・水彩画・写真・書・短歌・俳句・川柳・生け花などの作品220点を展示。

ステージ発表部門では、日本舞踊・民謡・フラダンス・三味線・コーラスなど25団体が、日頃から練習を



「舟」をテーマに飾られたフラワーアレンジメントに見入る観覧者

重ねた成果を披露。

観覧された方々は、展示作品やステージ発表の素晴らしい出来栄に、皆感心していました。